

平成 30 年度 ひまわり放課後等デイサービス 自己評価に対する検討結果

アンケート実施期間：平成 30 年 11 月

	アンケート結果	改善目標、工夫している点
<p>利用する障害児及びその保護者の意向、障害児の適正、障害の特性その他の事情を踏まえた支援を提供するための体制整備</p>	<p>保護者向け・事業者向けともに良い評価が得られている。</p> <p>特に活動スペースの項目は昨年より特に大幅な改善がみられている。</p> <p>事業者向けアンケートで、活動スペース、職員体制について「曜日、時間によって適切でない場合もある」との意見が出ている。</p>	<p>今年度から活動拠点を移転したことにより、活動スペースの広さを確保することができている。</p> <p>ひまわり放課後等デイサービスでは重心の利用者の受け入れを多く行っており、人員配置基準を大きく上回る手厚い人員配置をしていることから、人員配置についても良い意見を多く頂けている。</p> <p><u>事業所アンケートの「曜日、時間によっては適切でない」との意見について、</u></p> <p>活動スペースは十分な広さがあるが、最大定員で受け入れを行った時は少し狭さを感じる。床での活動用にジョイントマットを室内半分に敷き詰めているため活動で活用できていないスペースがみられる。『参加人数が多い時はジョイントマットを外して車いすが移動できるスペースを広くする』等の工夫をしながら対応していく。</p> <p>職員体制については、H30 年度は利用者数が徐々に増加したこと、新規職員指導のために普段より手厚い職員配置で対応していたことから、現在の職員数が少なくないと感じる人がいると考えられる。</p> <p>また、6 月、10 月に送迎対象者の拡大を行ったことにより、送迎準備、トイレ・移乗の 2 人介助の時間が重なってしまい職員が忙しく動いている時間帯がある。すでに手厚い人員配置で、必要配置数は満たしているので、現在の職員体制のまま互いに協力して動きをスムーズにしていく必要がある。</p>
<p>従業者の勤務の体制及び資質の向上のための取り組み状況</p> <p>業務の改善を図るための措置の実施状況</p>	<p>おおむね良い評価が得られている。</p> <p>第三者評価を行っていないのに 6 名の職員が「はい」と答えてしまっている。</p> <p>研修について、昨年より「はい」と答えた人数が少なく、「どちらでもない」の回答が増えてしまっている。</p>	<p>今回の自己評価アンケートを外部のものと勘違いしてしまった可能性がある。「自己評価」という名称なので分かると思ってしまい簡単な説明のみで実施してもらっていた。説明が少ないと勘違いが起こる可能性が高くなるので、本アンケートに限らず、業務を行ってもらう際に目的、手法などを丁寧に説明しながら実施していく。</p> <p>内部学習会、全体職員会議は実施しているが、外部講師を呼んだ研修は今年度できていない。今年度から研修担当職員を決めて、研修の企画を行っていく予定だったができていなかった。改めて研修担当職員を決めたので、研修担当職員で進めていく。</p>

	ヒヤリハットについて、良い回答は得られているが事例集作成は出来ていない。	事業所において発生しやすい事故、ヒヤリハットの事例集（過去の事例をまとめ、傾向を集計したもの）を作成した方が良いとの話が出ていたが、まだ作成できていない。担当を決め、その責任で今年度中に作成を行う。
関係機関及び地域との連携、交流等の取組の状況	<p>地域との交流について、昨年度のアンケート集計では保護者から積極的な関わりを望むとの意見はなかったが、今年度、「夏休み等は積極的な関わりを望む」との意見も上がっている。</p> <p>保護者同士の繋がりについて、良い評価は得られているが、検討しなければならない点もある。</p>	<p>今年度事業所が移転したので、地域にひまわり放課後等デイサービスという事業所があることを知ってもらうことは大切。5月に行う合同祭りに参加してアピールを行っていく。また、小中学校では福祉体験授業もあるため、近隣の学校へ声掛けして体験に来ていただくのも良いかもしれない。</p> <p>保護者同士のつながりについて</p> <p>良い回答が増えている一方で「他校の保護者との繋がりが薄い」「保護者会に出席されない方と会えない」との意見が上がっている。</p> <p>これまで、お迎え時に保護者同士のコミュニケーションがみられていたが、送迎を拡大したことで保護者同士が会う機会が減少してしまった。職員からも送迎時では簡単な申し送りしかできないため、保護者との詳細な情報共有が行いにくいとの意見もでている。今後、保護者同士、保護者と職員がゆっくり話せる機会を増やしていく。</p> <p><検討時に出たアイデア></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者会後に茶話会を開催する。 ・休日に親子参加行事を企画する。（地域との交流にも繋がる） ・保護者と職員との交流会を実施する。
利用する障害児及びその保護者に対する必要な情報の提供、助言そのほか支援の実施状況	ペアレントトレーニングについて、昨年度より「どちらでもない」との回答が増えて悪い評価となっている。	職員が『ペアレント・トレーニング』というものを重く考えすぎているのではないかと。トレーニングという名前から『指導』と思いがちだが、支援方法や介助方法の相談、福祉用具の情報提供を行っていくことで保護者の対応力向上を図れているため、『指導』ではなく『相談』の視点で保護者支援をしていけば良い。
緊急時等における対応方法及び非常災害対策	保護者向け、事業者向けともに昨年度より悪い評価が多くなっている。	<p>あゆみの家として避難訓練は行っているが、ひまわり放課後等デイサービス児童や非常勤職員は参加できていない。消防法では『あゆみの家』として避難訓練の回数が定められているので違法にはならないが、安全対策として早急に行う必要がある。</p> <p>本アンケート集計後に全職員（非常勤職員も含む）に対して防災設備や避難経路の説明を実施、1月8日に利用者に対して避難訓練を実施した。</p> <p>今後も定期的に地震、火事などを想定した避難訓練や、送迎困難を想定した引き取り訓練を実施していく。</p>